

愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所 研究活動計画

研究所が推進する研究課題（平成22年度）

（1）自閉症についての研究

① 主として診断方法の改善を目指した研究

1. 発達障害の未知の原因遺伝子の同定と機能解析（遺伝学部：継続）
2. 発達障害の遺伝子解析と臨床診断への応用（遺伝学部：継続）
3. 脳波を使ったプレパルス抑制（PPI）試験方法の開発と自閉症診断への応用（所長研究室：継続）

② 主として治療方法の開発を目指した研究

1. HDAC 欠損マウスのうつ状態解析による発達障害での精神症状解明（発生障害学部：継続）

③ 主として療育方法の改善を目指した研究

1. 広汎性発達障害児の養育者を対象としたサイコエデュケーションプログラムの開発（教育福祉学部：継続）
2. 情動（快・不快）モデルに基づく発達障害児の対人行動に関する研究（教育福祉学部：継続）

（2）知的障害についての研究

① 主として正確な診断をするための研究

1. 日本版知的障害者用認知症質問紙の妥当性の検討（教育福祉学部：継続）

② 主として治療方法・予防方法の開発を目指した研究

1. 膜貫通型コンドロイチン硫酸プロテオグリカンであるニューログリカンCの脳における機能解明（周生期学部：継続）
2. 統合失調症関連分子 dysbindin-1 の神経発達期における性状機能解析（神経制御学部：継続）
3. 慢性的神経変性の進行メカニズムと神経保護機能誘導による病態制御（病理学部：継続）
4. 糖鎖制御による周生期脳損傷の治療法に関する研究（周生期学部：継続）
5. 周産期脳障害の病態形成における酸化ストレスと炎症メディエーター（病理学部：継続）
6. 知的発達や言語発達遅滞を示す児、者における認知機能の検出—ウィリアムズ症候群を中心として—（機能発達学部：採択）

（3）心身障害の全般に係る研究

① 障害のある人を支援する機器の開発を目指した研究

1. 身体活動量および酸素摂取量を測定するゴムセンサーの開発研究（機能発達学部：継続）

② 障害のある人の社会参加を目指した研究

1. 社会参加が身体活動や全身持久力に及ぼす影響（機能発達学部：継続）

（平成 22 年 4 月）